

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 奥羽大学大学院咬合機能修復学
元教授 嶋倉 道郎 先生

2. 演 題 レーザーのことを理解しよう

3. 日 時 2019年10月17日(木)17:00～18:00

4. 場 所 7号館(歯学部校舎棟)4階 第4講義室

5. 要 旨

レーザーは1960年にメイマンが初めて発振させることに成功してから、自然光には無い特徴を生かして色々な分野に応用されるようになり、今では我々の生活に欠かすことのできないものとなっている。近年は歯科医療の分野においても齲蝕や歯周病の治療、さらには腫瘍の除去などにも保険診療としてレーザーを使用することが認められ、開業歯科医院にも普及してきている。また補綴領域でもCAD/CAMで補綴物を製作する場合の計測や加工、溶接などに応用されている。このようにレーザーは現在非常に便利な装置となっているが、その特性を正しく理解しないで使用すると、重大な医療事故を引き起こすことにもなりかねない。そこでレーザーとはどのようなもので、使用に当たってはどんなこと注意しなければならないか解説したい。

連絡先:三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)